

「Web リスクセンス検定®」 受検案内

* 「リスクセンス検定」 ホームページに常に最新情報が掲載されています。
ご参照ください。（下記記述も変更する場合がありますがご了承ください。）

（１）「Web リスクセンス検定®」とは

「Web リスクセンス検定®」は、“組織と個人のリスクセンス度”を客観的に測定し組織の健康状態を診断する検定試験です。

検定の狙いは、組織の健全性を維持するために現在の社会で求められるある一定のリスクセンスを有する組織と人の育成です。“組織と個人”に想定されるさまざまなリスクに対する健全な感覚を、確認し、磨き、また、維持する目的で創設されました。

本検定は、NPO 法人リスクセンス研究会が実施するもので、受検申し込みから結果・評価判定まで、すべて Web 上で行われます。

“組織と個人のリスクセンス度”を測る基準は、LCB 研究会により開発された「LCB 式 組織の健康診断®」法を用います。

（２）「Web リスクセンス検定®」の特色と活用方法

①職業・資格・経験・知識などは不問です。一個人として、誰でも、いつでも Web 上で受検できます。

②「一般事業所」におけるリスクセンスを対象とした全般的内容ですので、高度な専門的知識は不要です。しかも、簡便かつ定量的にリスクセンス度を測ることが出来るので、学習の指針が具体的に把握できます。

③“組織”と“個人”の両方向からリスクセンス度を向上させるために、独自に開発した理論に基づき実証を積み重ね、業種を超えて活用が始まっています。

（※2008年から3年間は東京大学、2011年から3年間は東京工業大学での科研費研究）

④複数人による団体（会社などの組織）での受検が簡便に行なえるのが特色です。組織の中の立場別（一般実務職・中間管理職・上級管理職）に“個人のリスクセンス度”を測り、立場間の意識の差異の分析などから“組織のリスクセンス度”を総合的に明らかにします。

⑤リスクに関わる業務の能力評価の一手段として簡便に実施できるので、組織規模の大小に関わらず、リスク管理やコンプライアンス研修などに応用できます。

⑥出題内容が受検1回ごと全く同一になることはないので、繰り返し受検でき、組織と個人のリスクセンス度を定点観測でき、日常の諸施策の進捗度を定量的に把握できます。

⑦リスクセンス度の高い受検者には、NPO 法人リスクセンス研究会より第1・2・3種（後述）の認定がなされます。（認定証を希望される場合は、有償で発行いたします）

（3）「Web リスクセンス検定®」受検要領

〈準備〉

①本「受検案内」で、または Web で「リスクセンス検定®」ホームページへアクセスし、検定の概要と受検サイトの流れを確認してください。不明な点は事務局へお問い合わせください。

リスクセンス検定

ホームページ <http://risksense-kentei.net>

事務局メール info@risksense-kentei.net

なお、「NPO 法人リスクセンス研究会」ホームページでは、「LCB 式 組織の健康診断®」法から検定の概要を説明していますので、あわせてご覧ください（研究会 HP から受検サイトに入れます）。

リスクセンス研究会

ホームページ <http://risk-sense.net>

事務局メール info@risk-sense.net

〈受検の種類〉 申し込みの仕方により、つぎの2種類に分かれます。

[A] 個人受検（個人で申し込む）

[B] 団体受検（一組織の複数構成員からなる団体で申し込む）

以下、それぞれについて、受検の流れの概略を説明します。

[A] 個人受検

〈申込みから検定開始まで〉

①受検申込み

「受検申込み」画面で次の必要事項を記入・選択、送信します。

氏名・連絡先・メールアドレス・受検コース（分野・立場・組織規模）

②検定料のお支払い

請求書をお送りしますので、検定料をお支払いをください。(口座振込のみ)。受検料は各コース共通3,000円(消費税等は別) / 1人1回受検です。

入金確認後、事務局から受検に必要なIDとパスワード(以下ID)が、登録されたメールアドレスに送付されます。

③受検実施

「リスクセンス検定」ホームページで「リスクセンス検定を“受検”」をクリックし、取得したIDで「受検」サイトに入ります。これで検定開始です。

〈受検コースについて〉

次の4項目について受検者情報を登録します。組織内の立場別に設問が出題されます。

①分野(業種)

一般事業所、医療・介護、IT、オフィス 他【現在、「一般事業所」のみ受検可能】

②立場

所属する組織内における立場をつぎの3つから選びます。

- ・一般実務職 第一線の現場で実務を担当している方
- ・中間管理職 部下をもち1つの業務範囲内で管理職として実務を遂行している方(主任、係長、課長、グループリーダーなど)
- ・上級管理職 複数の異なった範囲の業務部門を担当している管理職の方(部長、工場長、支店長、部門長など)

③組織規模

従業員数により、大(300人以上)、中(50人以上300人未満)、小(50人未満)

④勤続年数

20年以上、10年以上~20年未満、5年以上~10年未満、5年未満

〈ID・パスワードの有効期限について〉

①ID を取得してから 1 週間以内に受検を完了してください。1 週間を過ぎると ID は無効になります。

②ID は受検 1 回限り有効です。再度受検の場合は、新規申し込みから別途取得が必要です。

〈出題の構成・形式〉

全体が 2 部に分れ、**[第 1 部]**、**[休憩]**、**[第 2 部]**の順に進みます。所要時間は 1 時間強程度です。

[第 1 部]では「個人のリスクセンス度」を測定します。高得点の受検者には、NPO 法人リスクセンス研究会より第 1・2・3 種（後述）の認定がなされます。

[第 2 部]では「組織のリスクセンス度」を診ます。受検者が“自らが所属する組織の”リスクセンス度を評価しながら、組織のリスクセンスとは何かを考え、理解を深める場です。

[第 1 部]（個人のリスクセンス度）

〈出題〉 全 25 問。1 題の解答を終えらるとつぎの問題が出題されます。

〈解答方法〉 各設問に対して提示される 5 つの解答例から 1 つを選ぶ 5 択方式です。いちばん適切と判断する解答例のラジオボタンをクリックして答とします。答は後で修正可能です。なお、未解答の設問があると終了できません。必ず全 25 問に答えてください。

〈設問内容〉 知識力（5 題）、リスクへの対応力（17 題）を問う問題につづき、文章題（3 題）が出題されます。

〈制限時間〉 制限時間は 40 分です。残り時間が時計で示されますので、あわてずに考えて解答してください。制限時間内に第 1 部を終了し休憩から第 2 部へ進むこともできます。なお、40 分経過すると（未解答の問題があっても）自動的に第 1 部が終了しますのでご注意ください。

〈解答確定〉（**第 1 部終了**） 全 25 問の解答を終え、「次へ」ボタンをクリックします（この時点での解答変更はできません）。これで第 1 部が終了し、休憩に入ります。

[休憩] 10 分間です。省略して第 2 部を開始することもできます。

[第 2 部]（組織のリスクセンス度）

〈概要〉 受検者が自身の所属している組織を、「組織のリスクセンス度」がどのレベルにあるか、“受検者個人の目で”率直に診断します。その結果をもとに、所属する組織のリスクセンス度を定量化し、組織と受検者が参考にすべきリスクセンスの具体的指針を示します。

〈**解答要領**〉 「LCB 式 組織の健康診断®」法による「LCB 式 組織の健康診断シート」で「11の診断項目」それぞれについて評価（6段階）を与えます。

〈**制限時間**〉 制限時間は40分です。説明文をよく読み、率直にかつ慎重に診断してください。

〈**解答確定**〉（第2部終了） 全11の診断項目に評価を与えないと終了できません。解答確定後、「次へ」ボタンをクリックします（この時点での解答変更はできません）。これで第2部が終了です。

【受検結果・評価】

〈通知〉 受検終了の翌日、受検の結果が出たという「通知」が e メールで届きます。受検時の ID で指定のサイトに入り、自身の受検結果・評価を確認してください（閲覧可能期間は受検完了後1週間です）。

〈受検結果・評価〉

①個人のリスクセンス度（第1部）

「個人のリスクセンス度」は、100点満点として表示されます。

（得点）1問正答につき4点、全25問正答の場合は100点です。

（結果・評価シートには、立場別の全国平均点が示されます）

■認定

次の2つを満たした場合、高いリスクセンスを身に着けているとして「認定」されます。

1) 得点合計が76点以上である。

2) 25問中には「正答必須」の11問が含まれています。この11問のうち9問以上を正答する。

正答できなかった点に関して、どの分野のリスクセンス度が不足しているか示され、今後学習すべき点を確認することができます。

■認定証・称号

認定者には受検コース（立場）により、NPO 法人リスクセンス研究会から次の称号が授与されます。

上級管理職の認定者 「リスクセンス検定・第1種認定」

中間管理職の認定者 「リスクセンス検定・第2種認定」

一般実務職の認定者 「リスクセンス検定・第3種認定」

希望する方には「認定証」をお送りします（有償）。

②組織のリスクセンス度（第2部）

受検者による自身が所属する組織のリスクセンス度評価と、第1部の受検結果を総合的に判断し、NPO法人リスクセンス研究会の判断基準に則り、受検者と組織のリスクセンスを向上させるに必要な具体的な指針を提案します。

[B] 団体受検

1組織に所属する立場の違う複数人が同時に受検し、“組織と個人”のリスクセンス度の向上を目指す指針を得る受検システムです。

〈申込みから検定開始まで〉

①受検申込み

受検実務を担当する団体の代表者が、リスクセンス検定ホームページの「団体受検」から、所定のフォームに必要事項を記入し、検定事務局に「受検申し込み」をします。

②確認・登録

検定事務局より代表者宛、確認の連絡をします。代表者は受検者の構成（立場・人数など）、受検実施時期、準備などの詳細について事務局と打合せます。受検内容を決定し、団体内での準備を整えてください。

③検定料のお支払

受検料の請求書をお送りしますので、銀行振り込みか郵便振替でお支払いください。

④受検実施

- ・受検は各個人で行ないます。要領は [A] 個人受検と同じで、定められた期間内に受検を終えます。なお、検定の結果も [A] 個人受検と同様に各自が確認し、リスクセンス向上に活用できる指針を得ます。
- ・全員の受検終了で団体受検が完了します。

〈受検結果・評価通知〉

リスクセンス研究会は、受検した団体（代表者）に、受験後1か月以内を目安に、組織と個人のリスクセンス度に関する次の内容の評価書を作成し報告します。

- ・3立場別の得点（平均値）、ばらつきを表示するレーダーチャート（含む、全国平均）

- ・ 3 立場別の得点（平均値）、ばらつきの解析結果（含む、全国平均）
- ・ 解析結果をもとにした組織と個人としての課題などへの指針と対応策を示した提案書

なお、団体・組織として受検する場合、進め方、結果成績の提示・送付方法などについて、さまざまな質問が予想されます。また、リスクセンス研究会としては、組織が抱える課題やそれへの対応策の進め方など、種々のご相談に対応する用意があります。受検を検討する段階で、事前のお問い合わせ、ご相談を遠慮無くお寄せください。

*以上すべての項目について、内容は変更することがありますのでご了承ください。最新の情報「リスクセンス検定®」または「リスクセンス研究会」ホームページでご確認ください。

「Web リスクセンス検定®」で“組織と個人の”リスクセンスを鍛えましょう！